

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	092 国際戦略総合特区推進事業									
戦略プラン	IV	2	1	科学技術の振興	担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課				
総合戦略	I	1	(1)	科学技術の振興によるまちづくり	係名	イノベーション推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間 平成23年度～				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	総合特別区域計画					事業体制	職員のみ			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>つくばを変える新しい産学官連携システムを構築するとともに特区プロジェクトに取り組み、成果を上げ、ライフイノベーション・グリーンイノベーション分野で我が国の成長・発展に貢献する。「特区プロジェクト」の推進により、生じた課題・問題点を「つくばを変える新しい産学官連携システム」の構築にフィードバックし、つくばの科学技術の集積から新事業・新産業が生み出されていく、新しいシステムを確立する。</p>					<p>・組織の垣根を超えた新しい産学官連携の仕組みのもとで、システムの核となる組織（（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構：TGI）を設立し、研究インフラの共用化等の基盤となるサービスの提供を行う。これにより、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・市・県・TGIが連携し、各プロジェクトの進捗に合わせて事業化や産業化の推進に適した国や市の支援施策（財政、金融、税制及び規制緩和）の活用を提案する。 ・技術相談窓口について、市内企業への案内を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> ・TGI・茨城県と連携し、特区プロジェクトの参画団体に対して、特区制度で講じられる税制上の支援措置等の説明及び活用の提案を行った。 ・セミナーやイベント等において、市内企業・研究所等に向けてTGI内に設置されているワンストップ技術相談窓口の案内を行った。 ・一般市民に対して、つくば国際戦略総合特区の制度及びプロジェクトの理解促進のためセミナーを行った。 					
成果					課題					
TGI内に設置されているワンストップ技術相談窓口において、92件の相談に対応し、これにより企業と研究機関との共同研究や共同事業のマッチング等を実現した。					つくば地域の技術シーズに対して、研究開発や事業化支援を金融機関等と連携して進める必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
つくば地域の技術シーズの事業化・産業化を推進するため、TGIをハブとして金融機関等との連携を進める。										
指標の推移										
1	指標名	連携企業数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	1.0	1.0	1.0	173.0	329.0	486.0	641.0		
	実績	1.0	1.0	0.0	233.0	451.0	0.0	0.0		
	指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数※平成28年度までは新たなプロジェクト創出数（特区計画延長に伴い、指標を再設定）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,800	12,677	10,519	0
事業費計		(千円)	12,800	12,677	10,519	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	125.00	150.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,870	3,902		
事業コスト		(千円)	16,670	16,579		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 187千円 ・消耗品費 98千円 ・図書費 20千円 ・飲み物代 10千円 ・TGI負担金及び会費 10,100千円 ・藻類産業創生コンソーシアム負担金 100千円 ・講習会受講料 4千円 					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,421	5,278	5,972	0
事業費計		(千円)	4,421	5,278	5,972	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.80		
		時間外勤務 (時間)	200.00	240.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	6,191	6,242		
事業コスト		(千円)	10,612	11,520		

R01 年度 当初 積算 根拠	・審査員謝礼	144千円
	・チラシ・ポスター印刷	331千円
	・審査会運営委託料	497千円
	・採択案件負担金	5,000千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	094 市内大学・研究機関等との連携事業									
戦略プラン	IV	2	1	科学技術の振興	担当部課 係名	政策イノベーション部科学技術振興課 科学の街推進係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-020108-20 科学の街つくば推進に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分				事業期間						
個別計画	つくば市科学技術振興指針									
根拠法令						事業体制	職員のみ			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
筑波研究学園都市の一層の発展に向けて機能強化を図る。 研究機関等との連携を戦略的に進めることにより、技術成果・実証や社会的課題の解決に専門的知見を活用した行政体制の構築、防災体制の強化等に資する。					・市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴を生かしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。 ※行政改革アクションプラン「70 企業・大学・研究機関等との協働の推進」該当事業					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ活動への支援等を通じて連携を強化する。 新規で基本協定を締結する。 冊子や映像等、各種広報媒体を作成・活用し、情報発信する。 科学の街つくばPR動画の作成 科学教育支援事業の創設・実施 					通年 筑協事務局従事（1名/2日・週）、研究機関アウトリーチ活動広報支援、サイエンスカフェ、JAXAとの基本協定締結に向けた協議、産総研・民間事業者への下水道不明水対策検証協力、筑波会議に向けた調整等 4月 防災連絡網作成 8月 野口宇宙飛行士の「宇宙飛行記念品」がフックン船長に決定、サイエンスクロストーク 12月 金井宇宙飛行士の帰還報告会の開催協力					
成果					課題					
市役所での研究内容紹介のパネル展示や市内小中学校への刊行物の配布協力などを通じて、研究機関との協力関係を強化することができた。 産総研、民間事業者への下水道不明水対策検証への協力を通じて、先進的な社会課題解決手法を市内で試すことができた。					科学の街つくばを効果的に発信するためのコンテンツ化の検討					
改善目標（R01年度にむけて）										
市内大学・研究機関等と連携し、つくばの科学技術の魅力を集結し、効果的に発信する。										
指標の推移										
1	指標名	新規協定締結数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	実績	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	連携事業数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	14.0	15.0	16.0	17.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	16.0	17.0	19.0	0.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要	※行政改革アクションプラン「70 企業・大学・研究機関等との協働の推進」該当指標						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,671	6,875	2,199	0
事業費計		(千円)	4,671	6,875	2,199	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	274.66	260.34		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,800	7,704		
事業コスト		(千円)	12,471	14,579		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学・研究機関等との連携事業 2,199千円 市内研究機関等との包括協定の締結：協定書調印式看板代33千円 研究機関等のアウトリーチ活動支援：展示用消耗品78千円 科学の街情報発信：横断幕164千円、バナー182千円、パンフレット印刷500千円、PR動画委託400千円 筑波研究学園都市交流協議会事務局業務：年会費200千円、OA用消耗品 9千円、情報通信料83千円 つくばサイエンスアカデミー：負担金550千円 					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	6,000	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	22	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,597	14,070	12,394	0
事業費計		(千円)	10,619	14,070	18,394	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.50		
		時間外勤務 (時間)	274.68	260.34		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	11,354	11,233		
事業コスト		(千円)	21,973	25,303		

R01年度当初積算根拠	次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業 18,394千円					
	<ul style="list-style-type: none"> つくば科学教育マイスター：謝礼96千円、参加記念品（マイスター用）15千円、参加記念品261千円、副賞100千円、チラシ31千円、ポスター13千円、駐車場使用料9千円 科学オリンピック等：ジュニア発明展副賞20千円 南極出前授業：パンフレット送料20千円 体験型科学教育事業：体験型科学教育事業12,000千円、 事業負担金：つくば奨励賞2,000千円、日本情報オリンピック700千円、科学の甲子園ジュニア全国大会3,000千円 各種打合せ：普通旅費129千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	887	2,342	2,994	0
事業費計		(千円)	887	2,342	2,994	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	274.66	260.32		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,800	7,704		
事業コスト		(千円)	8,687	10,046		

R01年度当初積算根拠

- ・国際科学技術都市「つくば」の推進事業 2,994千円
 ハイレベルフォーラム：特別旅費2,033千円、プロデューサー昼食代5千円、保険料32千円
 理工系女子等応援事業：チラシ21千円、ポスター82千円、広告記事掲載756千円
 表敬訪問者対応：手土産代60千円
 視察対応：飲み物代5千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	17,489	9,390	10,313	0
事業費計		(千円)	17,489	9,390	10,313	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.50		
		時間外勤務 (時間)	375.00	375.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	11,608	11,517		
事業コスト		(千円)	29,097	20,907		

R01年度当初積算根拠	ロボットの街つくば推進事業 10,313千円 <ul style="list-style-type: none"> 顧問報酬：1,200千円、旅費：261千円、需用費：593千円（事務用消耗品、ロボットの街紹介パネル等）、修繕料：327千円（セグウェイメンテナンス費用）、 役務費：321千円（セグウェイ保険料）、委託料：550千円（パンフ委託）、 負担・補助金：7,388千円（セグウェイインストラクター、モビリティロボット実証実験推進協議会負担金2,000千円、つくばチャレンジ大会補助金5,000千円等） 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	